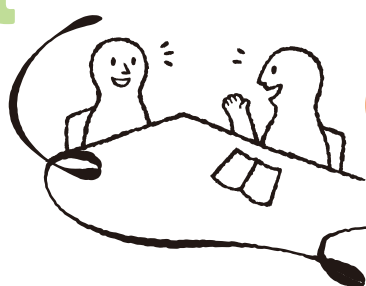


新潟青陵学会
第11回学術集会

Possibility of dialogue for better care

ダイアログ の可能性



2018. **11/3** 土・祝
10:00~16:00
受付 9:30~(4号館1階ホール)

■ 会 場 新潟青陵大学
■ 主 催 新潟青陵学会

学術集会長 斎藤まさ子(新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)

メイン・テーマ

ダイアログ の可能性

ダイアログ(dialogue)は対話を意味します。その語源は、ギリシャ語のdia (～を通じて) とlogos (言葉) です。ミハイル・バフチンの思想は、人の経験世界をダイアログという観点から視覚化しました。バフチンは、ダイアログは意識と意識のコミュニケーションそのものであり、互いの応答をくりかえすことによって新たなものが生み出され変化していくことから、「アイディアを生む培養地」と表現しました。

ケアを学ぶ領域すべてにおいて、ダイアログはその重要な位置を占める概念ではないでしょうか。しかしながら、つついケアする側から一方通行の発信になるという、ダイアログの哲学や考え方を忘れてしまいそうになることも現実です。

本日は、バフチンが表現した、「アイディアを生む培養地」について追究することで、ダイアログの可能性について考えていきます。

スケジュール

9:30～10:00	●受付	4号館 1階ホール
10:00～10:10	●開会の挨拶 学 会 長：諫山 正(新潟青陵大学 学長) 学術集会長：斎藤 まさ子(新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)	5号館 5301 講義室
10:10～12:00	●基調講演 「開かれた対話性 －ダイアログの可能性－」 講 師：竹端 寛(兵庫県立大学環境人間学部 准教授)	5号館 5301 講義室
12:00～12:25	●総 会 学会員の方のみが対象となります。非学会員の方の出席はご遠慮ください。	5号館 5301 講義室
13:00～14:00	●ポスターセッション ポスターは10:30～15:00まで自由にご覧ください。	1号館 1204・1205・1206 講義室
14:10～15:55	●シンポジウム 「ケアにおけるダイアログの実践」 シンポジスト：大竹 美幸(緩和ケア認定看護師) 新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケアセンター 小山 弓子(社会福祉士) 新潟市地域包括支援センター あじかた 近田 裕之(臨床心理士) 医療法人恵松会 河渡病院 コメンテーター：竹端 寛(兵庫県立大学環境人間学部 准教授) 座 長：池田 かよ子(新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)	5号館 5301 講義室
16:00	●閉会の挨拶	

プログラム

1. 基 調 講 演

テ ー マ

「開かれた対話性 ― ダイアログの可能性 ―」

講 師：竹端 寛(兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

大阪大学人間科学部、大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了(人間科学博士)。
山梨学院大学法学部政治行政学科教授を経て、2018年4月より、兵庫県立大学環境人間学部准教授に就任。
大学院生時代に精神科病院でのフィールドワークを皮切りに、スウェーデンでの半年にわたる障害者支援に関する現地調査や、アメリカ・カリフォルニア州での権利擁護機関の実態調査など、現場に根ざした調査を行っている。近年では、イタリア・トリエステの民主精神医療とフィンランドのオープンダイアログに共通する「開かれた対話性」を研究の軸に据えている。

著書：単著『枠組み外しの旅―個性化』が変える福祉社会』青灯社、2012

『権利擁護が支援を変える―セルフアドボカシーから虐待防止まで』現代書館、2013

共編著『「無理しない」地域づくりの学校―私からはじまるコミュニティーワーク』ミネルヴァ書房、2017

共著『精神病院時代の終焉』晃洋書房、2016

他多数あり

2. シンポジウム

テ ー マ

「ケアにおけるダイアログの実践」

〈趣 旨〉

「ダイアログ」とは、二人以上の人の取りかわす問答、わかりやすく言うと、対話・会話を意味します。支援者と利用者との関係において、こちらの聞きたいことだけを聞き、相手の言いたいことを聴けていない、というのでは、「ダイアログ」とは言えません。利用者側の声に耳を傾けることから、ダイアログの回路が開かれていき、お互いの関係性を変え、相互に変容する大きな渦となっていくと言えます。それにより、支援する側・される側という一面的な関係性は変化し、やがてそれは二者関係から三者関係へと広がり、利用者や利用者を取り巻く様々な支援者たちの世界が変わるきっかけになると言えるでしょう。

本シンポジウムでは、利用者との「ダイアログ」による、支援者としての価値観の変容と、それに伴う利用者側の変化について、これまでの経験を看護、福祉、心理のそれぞれの分野の実践者にお話ししていただきます。ダイアログを実践していくには、支援者として何を大切にしたらよいか、そのために私たちができることは何か、シンポジスト、コメンテーター、参加者の皆様と議論を深めたいと思います。

●シンポジスト 大竹 美幸 氏

新潟県立がんセンター新潟病院
緩和ケアセンター
緩和ケア認定看護師

平成8年より看護師として新潟県立病院に勤務。患者との対話や看護ケアを通して、患者の病に対する意味づけや価値観・希望を知り、どのような状況にあってもその人らしい生活がおくれるよう緩和チームの一員として活動している。

小山 弓子 氏

新潟市地域包括支援センターあじかた
社会福祉士
認証・認定機構登録スーパーバイザー

精神および高齢者分野の相談員等を経て現職の管理者に。現場では「まずは聴く」をモットーに相談援助業務に25年以上携わる。新潟県社会福祉士会理事、実習指導者として後進の育成や、新潟県MSW協会の有志とスーパービジョンを学び、「支援するひとを支援するひと」の輪を拡げる取り組みを展開。

近田 裕之 氏

医療法人恵松会 河渡病院
臨床心理士

10年間、精神科病院のデイケアやアルコール依存症者のグループミーティング等、主にグループへのアプローチを中心に援助を行っている。グループ全体といかに「つながり」を持てるかを意識して対話を行っている。新潟青陵大学大学院臨床学研究科修了。

●コメンテーター 竹端 寛 (兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

●座 長 池田 かよ子(新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)

ポスターセッションの申し込み・抄録作成・発表

1 申し込み

1) 方 法

発表をご希望の方は、下記①②③を電子メールで添付して学術集会事務局までお送りください。

学術集会事務局 E-mail: 2018conf@n-seiryu.ac.jp

- ①ポスターセッション発表申込書(新潟青陵学会ホームページからダウンロードして必要事項をご記入ください。)
- ②抄録原稿
- ③抄録原稿作成チェックリスト

2) 申込書・抄録原稿の提出期限

2018年8月20日(月)17:00《必着》

2 抄録原稿の作成・提出

- 本文の記載は、原則として、Ⅰ目的、Ⅱ方法、Ⅲ結果、Ⅳ考察、Ⅴ結論、引用文献とします。
なお、個人情報保護等の倫理的配慮について必ず記載してください。
- 文字の大きさや書体等の組み方は抄録作成見本をご参照ください。
- 抄録原稿書式・抄録原稿作成チェックリストは大学ホームページからダウンロードしてご使用ください。
- 抄録原稿はWord(ver.2000以降)で作成し、電子メールに添付してお送りください。

3 発表者の資格・選考

1) 資 格

- 共同研究の場合は、会員が必ず1名以上含まれることを要件とします。
- 単独での発表を希望される非会員の方は、事前にご入会いただく必要があります。新潟青陵学会ホームページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、電子メールでお送りください。1週間以内に受領メールが届かない場合は、学術集会事務局にご連絡ください。

2) 選 考

- ポスターセッション発表申込の受理は前記の申込書類の受領をもって行い、採否は9月上旬までにメールにて連絡します。
- 採択された抄録原稿は、新潟青陵学会第11回学術集会抄録集に掲載されます。

4 個人情報の利用

- ポスターセッション発表申込書に記入された氏名・所属は、新潟青陵学会抄録集に掲載されます。
ご了承ください。

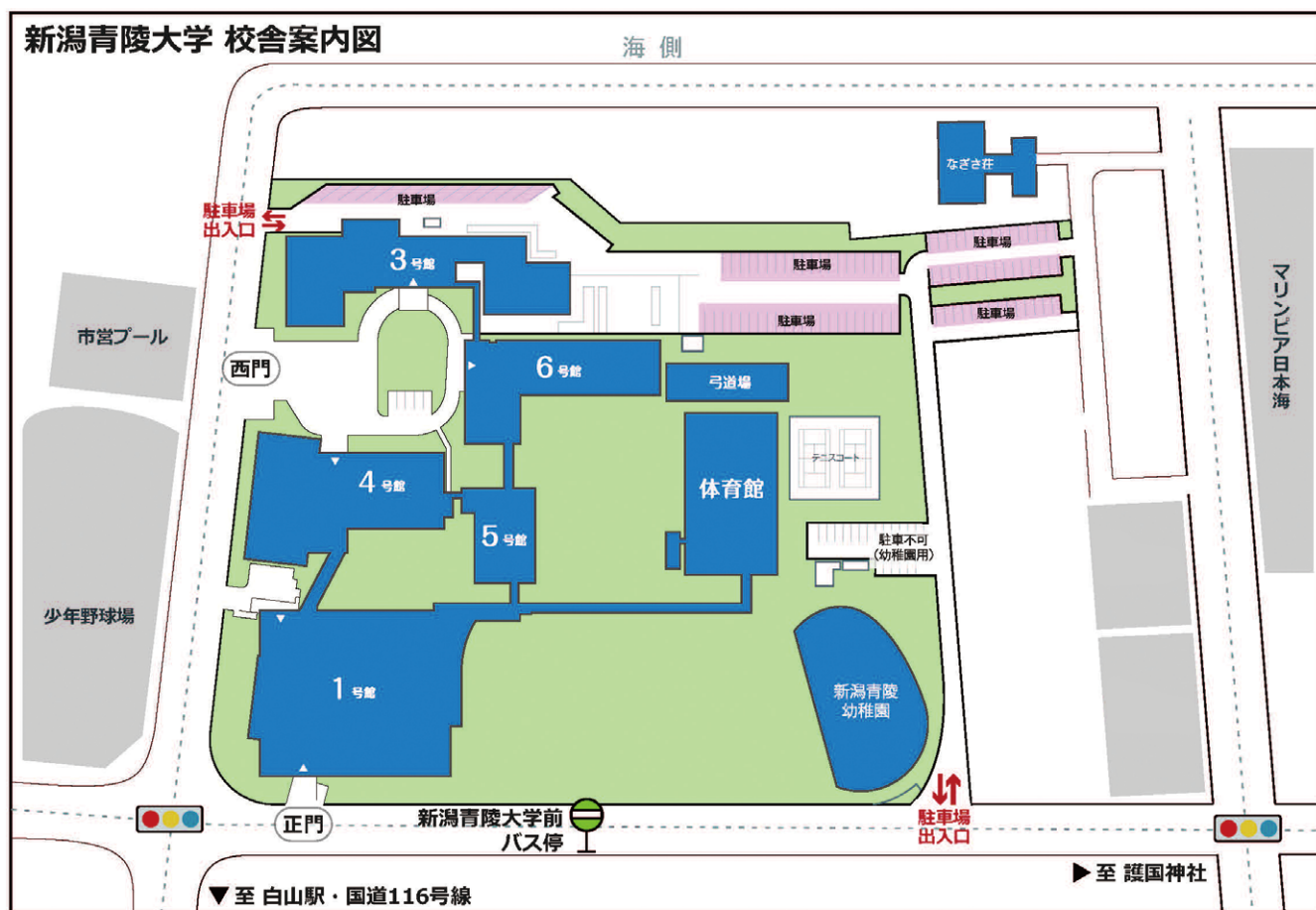
5 ポスターの掲示

- 発表者は、学術集会当日9:30~10:00の間に受付までお越しください。
- ポスター掲示スペースは、題名を含めて1演題180(縦)×90(横)cmです。
ポスターは当日持参し、10:30までに掲示を完了してください。
- ポスターを掲示するためのボード、テープ類は、学術集会事務局で準備します。
- ポスター掲示時間は15:00までです。15:00以降は学術集会事務局がポスターの撤去を行います。
撤去したポスターを、16:10までに受け取りにきてください。それ以降は処分いたしますので予めご了承ください。

6 発表等

- ポスターセッションの時間は、13:00~14:00です。発表は座長の進行により、1演題あたり発表時間6分、質疑時間4分の計10分で行います。
- ポスターセッションの時間内は、発表者は発表・質疑時間以外でも会場内に待機し、参加者の質問等に答えたり、他の発表者のセッションに参加したりしてください。

会場案内



- 本学術集会当日は、大学生協売店が10:00～16:00まで営業します。また、4号館1階にてワークショップロード、焙煎コーヒー温、ワークセンター日和山、あどばんすの店も予定しております。どうぞご利用ください。
- 会場の駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 会場周辺には公共施設等の駐車場がございますが、本来の利用者の方の妨げになりますので本学術集会にご参加の方のご利用は固くご遠慮ください。

参加申し込み・参加費

1) 参加申し込み

事前申し込みは不要です。当日、直接受付においでください。

2) 参加費

学会員、本学学生・本学大学院生	非 学 会 員	
無 料	一 般 1,000円	学生・大学院生 500円

※非学会員の方は当日受付にて参加費をお支払いください。
 注) 本学卒業生は別途入会者を除き、非学会員となります。

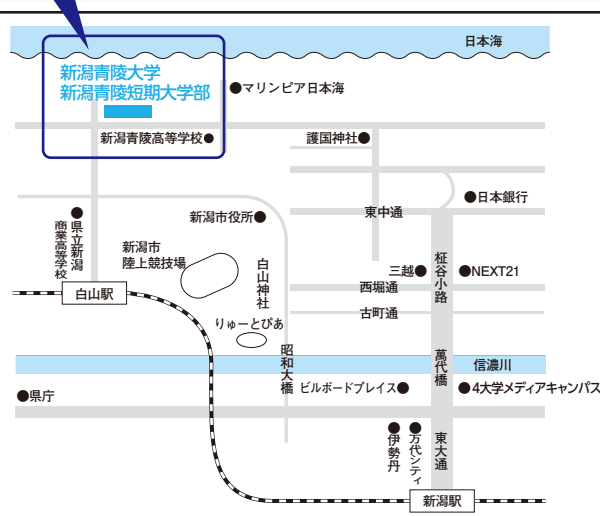
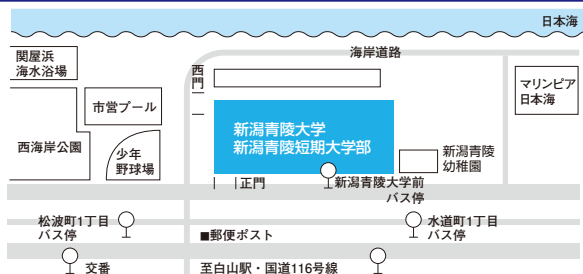
memo

[illegible]

交通アクセス



詳細地図



■JRをご利用の方 JR越後線(白山駅)下車 徒歩15分

■バスをご利用の方 ※新潟駅前万代口バスターミナル(7番のりば)から
 C20(浜浦町線 西部営業所ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C21(浜浦町線 信濃町ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C22(浜浦町線 水族館前ゆき) バス停 新潟青陵大学前下車 徒歩1分

お問い合わせ先

新潟青陵学会 第11回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
 TEL:025-266-0127(代表) FAX:025-267-0053(代表)
 E-mail:2018conf@n-seiryō.ac.jp
 ホームページ:<http://www.n-seiryō.ac.jp/gakkai/>
 電話受付時間:8:30~17:00(土日祝日・休業日は除く)

